

カーネーションの短期切り栽培法

第1報 さし芽時期と仕立て法

柴田 浩・斎藤 洋・藤本 順治

(秋田県農業試験場)

Cultivation Technique of Short Time Crop on Carnation

1. Date of herbaceous cutting and technique of training

Hiroshi SHIBATA, Hiroshi SAITO and Junji FUJIMOTO

(Akita Agricultural Experiment Station)

1 はじめに

秋田県のカーネーション栽培は、夏切り作型が主体であるため収量性が低く、また、品質的にも価格的にも多くを期待できない現状である。最近、簡易施設の有効利用や高品質生産、さらに市場価格の高い時期をねらった計画的生産等の目的から、植え付けた苗を1回摘心するだけで、そのまま開花させ1回の収穫で切り上げる短期切り栽培が注

a 9~10月切り (平成2年度)

さし芽時期	仕立本数
3月27日	1株3本
4月24日	1株3本・4本
5月10日	1株3本

(3) 試験規模 1区1㎡ 2連制

(4) 耕種概要

b 9~10月切り

さし芽時期	定植日	摘心日
3月27日	4月23日	5月8日
4月24日	5月28日	6月11日
5月10日	6月13日	6月27日

栽培条件: 9~10月切りは無加温ビニールパイプハウス、5~6月切りはガラス温室 (11月8日~4月27日まで最低気温10℃で管理)。

栽植密度: 43.7株/㎡ (実面積)

3 結果及び考察

(1) さし芽 (摘心) 時期と切花期・到花日数

摘心時期と切花期の関係は図1、2に示すとおりである。ここでの到花日数は、摘心日から切花盛期までの日数とした。

5月8日摘心 (3月さし芽) では、いずれの品種も到花日数は100~106日で、8月中・下旬の開花であった。6月11日摘心 (4月さし芽) では、パラス、伊豆ピンクが到花日数113日程度で10月中旬開花、タンガ、レナ・スーパーでは約140日、11月上旬開花、ライラックでは約160日、11月下旬の開花であった。6月27日摘心 (5月さし芽) では、伊豆ピンクが到花日数140日、11月中旬開花、その他の品種では170日以上も要し12月下旬頃の開花となり、無加温栽培では年内に採花を終了することができなかった (図1)。

11月28日摘心 (10月さし芽) では、いずれの品種も到花日数190~210日で6月上・中旬の開花、1月7日摘心 (11月さし芽) では、165~175日、6月中・下旬の開花、2月7日摘心 (12月さし芽) で140~150日、6月下旬~7月上旬の開花であった (図2)。

これらのことから、9月出荷を目標とする場合、到花日数115~120日程度と考えられ、逆算すると各品種とも4月上旬さし芽、5月中旬摘心、10月出荷ではパラス、伊豆ピンクで到花日数115日程度であることから、4月中・下旬さし芽、6月上旬摘心、また、タンガ、レナ・スーパー、

目されている。このようなことから、カーネーションの市場価格の高い5~6月及び9~10月切り短期栽培における、さし芽時期と仕立て方法の違いが生育・開花に及ぼす影響について検討したので、その結果を報告する。

2 試験方法

(1) 供試品種 タンガほか5品種

(2) 区の構成

6月切り

(平成3年度)

さし芽時期	仕立本数
10月8日	1株3本・4本
11月8日	1株3本
12月7日	1株3本

6月切り

さし芽時期	定植日	摘心日
10月8日	11月6日	11月28日
11月8日	12月10日	1月7日
12月7日	1月8日	2月7日

ライラックでは到花日数130日程度と思われることから、4月中旬さし芽、5月下旬摘心が適当と考えられる。

6月出荷を目標とする場合、到花日数は約200日を要することから、摘心は11月下旬、さし芽は10月上旬が適当と考えられる。

(2) 仕立て本数と切花期、収量、品質

仕立て本数を1株当たり3本と4本とし、開花、収量、品質に及ぼす影響をみたものを表1、2に示した。

切花期は、4月さし芽の4本仕立て区が3本仕立て区より遅れる傾向がみられ、特にパラス、レナ・スーパー、ライラックの4本仕立て区が3本仕立て区より2~4週間遅

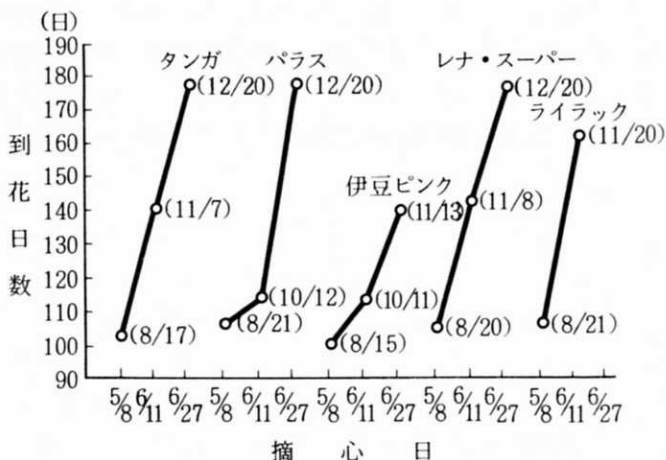


図1 さし芽時期と到花日数の関係 (9~10月切り)
注. () 内数字は切花盛期を示す。

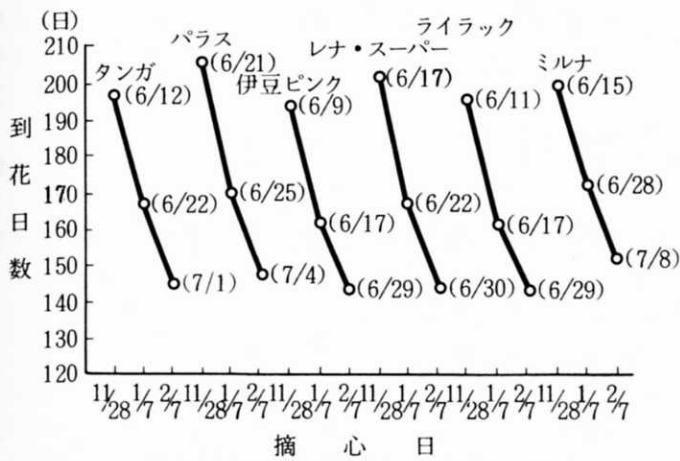


図2 さし芽時期と到花日数の関係(6月切り)
注。()内数字は切花盛期を示す。

㎡当たりの切花本数は、4月さし芽の3本仕立て区が57～122本、4本仕立て区で74～145本、10月さし芽の3本仕立て区では125～131本、4本仕立て区が162～175本であり、全体的に4本仕立て区で多かった(表2)。

切花長、茎径は、4月さし芽では3本仕立て区が4本仕立て区よりまさる傾向がみられた。しかし、タンガでは、4本仕立て区で切花長80cm以上の個体が多く、切花長、茎径も4本仕立て区でまさった。10月さし芽での切花長は、パラス、イ豆ピンク、ライラック、ミルナで4本仕立て区が3本仕立て区より大きく、切花長80cm以上の個体も多かった。タンガ、レナ・スーパーでは、仕立て本数の違いによる大きな差はなかった。茎径は、4本仕立て区が3本仕立て区より小さくなる傾向がみられた。10月さし芽での3本仕立てと4本仕立てでは、切花品質に大きな差はないと考えられる(表2)。

以上のことから、4月さし芽(秋切り作型)では、3本仕立てで開花揃い並びに切花品質がまさるものの、タンガ、パラスでは品質的に3本と4本仕立てで差はなく、収量面を考慮すると4本仕立てがよいと考えられる。また、10月さし芽(春切り作型)では、切花品質と収量面から4本仕立てが実用的と思われる。

表1 仕立本数の違いが開花に及ぼす影響

さし芽時期	品 種 名	仕立本数 (本)	切 花 期 (月日)			到花日数 (日)
			始 期	盛 期	終 期	
4.24	タ ン ガ	3	10. 8	11. 7	12.20*	140
		4	10. 3	11.10	12.20*	143
	パ ラ ス	3	9.22	10.12	11.14	114
		4	10. 6	11. 8	12.20*	142
	伊 豆 ピ ン ク	3	9.22	10.11	11.15	113
		4	9.22	10.13	11.16	115
	レ ナ ・ ス ー パ ー	3	10. 6	11. 8	12.20*	142
		4	10.15	11. 6	—	150
	ラ イ ラ ッ ク	3	10.30	11.20*	—	162*
		4	11.17	12.20*	—	192*
	タ ン ガ	3	6. 3	6.12	6.19	196
		4	6. 5	6.12	6.23	196
10. 8	パ ラ ス	3	6.15	6.21	6.27	205
		4	6.17	6.23	7. 2	207
	伊 豆 ピ ン ク	3	6. 1	6. 9	6.18	193
		4	6. 8	6.16	6.27	200
	レ ナ ・ ス ー パ ー	3	6. 6	6.17	6.30	201
		4	6.11	6.22	7. 3	206
	ラ イ ラ ッ ク	3	6. 5	6.11	6.20	195
		4	6. 8	6.15	6.25	199
	ミ ル ナ	3	6. 9	6.15	6.23	199
		4	6. 9	6.18	6.29	202

注. 切花盛期: *印は50%切花時とみなす。
切花終期: *印は90%切花時とみなす。
到花日数: 摘心から切花盛期までの日数

表2 仕立本数の違いが収量・切花品質に及ぼす影響

さし芽時期 (月日)	品 種 名	仕立本数 (本)	切 花 長 80cm以上 (%)	切花本数 (本/㎡)	切 花 長 (cm)	茎 径 (mm)
4.24	タ ン ガ	3	48.6	108	81.2	3.4
		4	88.4	115	86.2	3.5
	パ ラ ス	3	71.8	122	85.7	4.2
		4	55.8	131	80.3	3.9
	伊 豆 ピ ン ク	3	15.5	120	77.6	3.2
		4	5.4	145	74.0	2.7
	レ ナ ・ ス ー パ ー	3	43.9	107	75.9	3.2
		4	12.3	101	73.5	3.0
	ラ イ ラ ッ ク	3	27.8	57	78.0	3.3
		4	2.1	54	72.8	3.1
	タ ン ガ	3	89.7	131	87.3	5.1
		4	81.1	166	84.6	4.7
10. 8	パ ラ ス	3	98.8	131	89.4	5.6
		4	97.3	175	92.7	4.9
	伊 豆 ピ ン ク	3	28.8	125	78.7	5.0
		4	37.6	170	81.0	5.0
	レ ナ ・ ス ー パ ー	3	60.7	131	82.8	4.8
		4	65.7	170	82.3	4.7
	ラ イ ラ ッ ク	3	6.0	131	76.6	4.1
		4	18.3	162	78.0	4.1
	ミ ル ナ	3	14.8	131	79.6	4.6
		4	32.4	170	80.2	4.8